

A SHORT LECTURE ON SHÔMONO

Tomohide Kinuhata

kinuhata@let.osaka-u.ac.jp

Osaka University

January, 21, 2010

TEXTS WRITTEN IN "COLLOQUIAL JAPANESE" OR "NON-CLASSICAL JAPANESE"

- 11th C. 源氏物語 (1008 ?)
- 12th C. 今昔物語 (1106-20 ?)
- 13th C. ?
- 14th C. 平家物語 (延慶本 1309、覺一本 1371)
- 15th C. ?
- 16th C. ?
- 17th C. 天草版平家 (1593), 虎明狂言 (1642)
- 18th C. 浄瑠璃 (近松門左衛門 1653-1725)
- 19th C. 歌舞伎台帳, 洒落本, 人情本, 滑稽本...
- 20th C. 明治期小説類 (言文一致)

WHAT HAPPENS IN THOSE CENTURIES?

- *Kakari-musubi*

- (1) a. 年十六とそ聞えし。 覚一本平家
b. 年わ十六でござった。 天草版平家
- (2) a. あそびのもののならひ、なにかくるしかるべき。 覚一本平家
b. 遊び者のならいなれば、さだめて苦しゅうもある
まい。 天草版平家
- (3) a. 左右なふ推参するやうや ある。 覚一本平家
b. さうなう推参することがあるものか？ 天草版平家

WHAT HAPPENS IN THOSE CENTURIES?

- Tense

- (4) a. 一天四海をたなごころのうちに握り給ひしあひだ
覚一本平家
- b. 天下をたなごころに握られたによって、天草版平家
- (5) a. つかひを立てて召されけり。
覚一本平家
- b. つかいをたてて召された。
天草版平家

- Honorifics

- (6) a. 不思議の事をのみし給へり。
覚一本平家
- b. 不思議なことのみをせられてござる。
天草版平家

SOME TEXTS

WRITTEN IN THE 15TH AND THE 16TH CENTURY

- (7) a. 「この月よろづに忌むなる物を」と言ふ人ありけれど、
「人の事は知らず。我身にとりてはこの七日に生まれた
れば、却りてよき月と思侍る物を」と有しかば、聞く
人、ことはりとや思ひけん。

一条兼良「ふぢ河の記」1473

- b. 姫君、こわいかにとおぼしめして見上げ給ひつる御目
のうちのけたかさ、あくまで愛敬がましくて美しくぞ
おはしける。さて、姫君は本堂の東の縁に立たせ給ひ
て、「今は御傘参らせよ」と仰せける。

「しぐれ」1520 以前室町中期

MAJOR SHÔMONO TEXTS

Year	Title	ETT	Pages	CTT	Index
1458-59	漢書抄 (竺桃抄)		150		(✓)
1471-73	人天眼目抄		717		
-1475	論語抄		524		(✓)
1477	史記抄	✓	2580	✓	
1477	周易抄	✓	650		(✓)
1504	湯山聯句抄	✓	? 150	✓	✓
1525	古文真宝抄		306		
1527	三体詩抄		610		
1529	蒙求抄	✓	1034		
1533	中華若木詩抄	✓	313	✓	(✓)
1534	四河入海	✓	12442		
1539	毛詩抄	✓	1616	✓	
1561?	詩学大成抄		1322		
1563	玉塵抄		7441		

A BRIEF LOOK AT SHÔMONO TEXTS

- 史記抄 1477 『史記桃源抄の研究 本文篇』より

魏丞 以文

文吏トハ、物ノ法ヲ、キフク云モノチヤトテ、丞相ニナツタソ。京兆尹ハ、京中ヲハカラウモノソ。蠶室ハ、男根ヲキラルル、宮刑ノ者ヲク處ソ。男根ヲキルモノハ、身ニ風カツヨフヒイテ、寒ホトニ、蠶ヲ養處ノヤウニ、ヌリマワイテ、風ノ不入様ニシテ、暖處ニ火ヲ置テ、ソコニ宮刑ノ者ヲ置ソ。サルホトニ、蠶室ト云ソ。斬男根ヲハ、下蠶室ト云ソ。

(張蒼第三六)

後其 容々

トハ、ハシハシトシタ事ハナウテ、面白世間ト浮沈シテ、子細モナイソ。

(張蒼第三六)

家貧

落魄ハ、ホロリトシタナリソ。落魄ト、如字ニ讀^{ハク}タカヨイソ。アレトモ、皆落魄^{タク}トヨマシモソ。

(酈陸第三七)

A BRIEF LOOK AT SHÔMONO TEXTS

- 中華若木詩抄 1533 『中華若木詩抄湯山聯句鈔』(新日本古典文学大系) より。

140 鴛鴦雛
えんおうびな

新雛初乳紫鴛鴦

池上春風花雨香

飛稍成双宿相並

簾前暗断美人腸

しんすう にゅう し えんおう
新雛初めて乳す紫鴛鴦

ちじょう しゅんぷう か う かんば
池上の春風花雨香し

や そう しゆく
飛んで稍や双を成し宿して相い並ぶ

れんぜんあん はらわた
簾前暗に美人の腸を断つ

一二ノ句、乳ト云ハ、養フト云心ゾ。鴛鴦ノ新雛ヲ養フガ、鳥ノ色紫ニシテ見事ナルゾ。春ノ時分ナレバ、池上ヘハ春風ガ花ヲ吹送りテ、紅ノ雨カト覚ヘテ、イツクマデモ匂ヒワタルゾ。風流ナル景色也。三四ノ句、鴛鴦ハ一雙アレバ、総ジテ離レヌ者ゾ。飛バ双テ飛ビ、宿スレバ並ビテ宿スルゾ。コレヲ簾中ニアル美人ハ見テ、人知レズニ断腸スルゾ。アラ羨マシノ鳥ヤ、アノヤウニ一日片時ナリトモナライデト思ゾ。暗ノ字、妙也。人ニハ云ワズ、心中ニ思テ断腸スルゾ。

● *Kakari-musubi*

- (8) a. 天照大神ノツヨク死ヲ忌ルルハナニカ死カキタナ
イケカルルテハアラウソ 7.31
- b. 孝経十八章八曾參カタメニ孔子ノ説レタホトノ者
カナニカ人ヲ八殺サウソ 11.2
- c. 正義ニモ索隠ニモ枇杷ト云注ヲセヌイハレハ下ニ
枇杷トアルホトニナニカ同物ヲ八ニマテ云ワウソ
チヤホトニソ 14.46
- d. セメテ唐土テハシスマス事モアリカセウスラウ日
本テハカナウマイソ 14.72
- e. 驚ハ警ノ心歟警而蹕ノ義テソアルラウ 14.50

- Tense

- (9) ナセニ魯元太后ト云フソナレハ、趙王張敖ノ后ナルカ、貫高等カ謀反ニヨリテ、張敖ハ、趙王ヲハカレテ、誅セラレウテアツタカ、公王ニヨツテ、赦サレテ、魯王トシタソ。 6.66

- Honorifics

- (10) タツニモ、イルニモ、酒ヲ飲コトモ、物ヲ食フコトモ、同ヤウニセラルルソ。太后ノ殺サウトセラルレトモ、更ラニ、スキマカナカッタソ。 6.68

- Other Characteristics

- (11) a. 高祖ノ時ノ功臣テアルナラハ秦カラ漢ヘハシ帰シ
夕歟 6.73
- b. うをばし売りに来てあるか。 虎明狂言
- (12) a. 其カラヤミツイテ、一年アマリナヨリエナンタソ。
6.69
- b. 殿上の仙籍をば許されなんだ。 天草版平家
- (13) 項王カ虞姫ニ対シテ歌テ、酒ヲ飲タシモ、此時ナリ。
抄物資料集成

COMPILATIONS

- 抄物大系 勉誠社 1970-1976
四河入海、玉塵抄、毛詩抄、蒙求抄、人天眼目抄、論語抄
[足利本、応永二七年本] etc.
- 抄物資料集成 清文堂出版 1971-76
史記抄、四河入海、毛詩抄、蒙求抄 (語彙索引が一部あり)
- 続抄物資料集成 清文堂出版 1980-92
漢書抄、古文真宝桂林抄、日本書紀桃源抄 etc.
- 新抄物資料集成 清文堂出版 2000
中興禅林風月集抄、詩学大成抄、玉塵
- 抄物小系 高羽五郎書写 1968-74
三体詩素隱抄、古文真宝抄、日本書記抄、燈前夜話 etc.

活字版: CONTEMPORARY TYPED TEXTS (CTT)

- 『中華若木詩抄 湯山聯句鈔』(大塚光信他校注、岩波書店
新日本古典文学大系 53)
- 『湯山聯句抄本文と総索引』(清文堂出版、来田隆編)
- 『史記桃源抄の研究』(亀井孝他、日本学術振興会、1971)
- 『毛詩抄 詩経』(一)~(四)(小川環樹他校訂、岩波書店、
1996)

DIGITIZING 古活字版 (EDO TYPED TEXTS)

- Merits
 - The copyrights are out (though they are owned by someone).
 - More books than the CTTs.
- Demerits
 - Voiced and voiceless stops are not distinguished (as in hand-written copies).
 - Publishers sometimes made basic mistakes.
 - Difficulties in finding the appropriate contexts and kanji characters.

PROBLEMS OF 古活字版 (ETT)

- | | | |
|---------|------------------|-------|
| (14) a. | 共和ノ年トコトシウ云ウソ | 12.21 |
| b. | 山八高ケレトモ順へ上ル | 12.36 |
| c. | 是二依テ毛カイタワルトヨマタセソ | 13.16 |
| d. | 鄭八皆正楽トタミソ | 13.22 |
| e. | 渚八カ水シ四方カ水タソ | 13.16 |

毛詩抄 書陵部蔵本 (抄物資料集成)

DIGITIZING 活字版 (CTT)

- Merits
 - Voiced and voiceless stops are usually distinguished by the reviser.
 - Revisers are more careful than the publishers in the early Edo period.
- Demerits
 - Limited texts.
 - They include some wrong revisions.
 - The texts are still copyrighted (at least in Japan).

PROBLEMS OF 活字版 (CTT)

- (15) a. 泉が濁ては、何がよからうぞ。 3.107
→ 何かよからうぞ。
- b. 唐本には円にないたが、ただし円をめぐる心が有か、
字書を引てみぬ程に知れぬぞ。 4.444
→ 円にないたか、
- c. 賁の字のあるは大いな方に心得^{エル}ぞ。 1.51
→ 心得^{ウル}ぞ

『毛詩抄 詩経』

SUMMARY

- It is too difficult only to use 古活字版 (ETT) in digitizing the shômono texts. We should consult with 活字版 (CTT) even when the ETTs are the originals.
- It is better to use CTTs disregarding some apparent errors.

ON 『史記桃源抄の研究』 AND 『毛詩抄 詩経』

- 『史記桃源抄の研究』
「底本を舟橋家旧蔵本（現在、京都大学図書館蔵）にえらんだ。」
- 『毛詩抄 詩経』
卷1～10：「龍谷大学図書館蔵古活字本『毛詩抄』¹を底本とし、京都大学附属図書館・清家文庫蔵『毛詩聴塵』、『毛詩抄』十冊本・廿冊本による校定してある（ただし、実際には古活字本・十冊本・廿冊本の取り混ぜ本になっていることに注意）。」
卷11～20：「京都建仁寺・両足院蔵『毛詩抄』（毛詩口義）に拠る。」
⇒ Vol. 1～10 has no correspondence in ETTs and hand-written texts.

¹抄物大系：旧舟橋家蔵、抄物資料集成：内閣文庫本

- ① 「抄物」(資料編・中世)『日本語学研究事典』明治書院、pp. 739-760、飛田良文他編
- ② 柳田征司(一九九八)『室町時代語資料としての抄物の研究』武蔵野書院
序章、第一章「抄物の成立」、第二章「五山僧の抄物」、第三章「林下大応派僧の抄物」、第四章「幻住派の抄物」、第五章「博士家・神道家の抄物」、第六章「医家の抄物」、第七章「武家の抄物」、第八章「足利学校の抄物」、第九章「洞門僧の抄物」、第一〇章「抄物に連続する室町時代注釈書」、第十一章「抄物以後」